

社会資本総合整備計画（浜松市・事前評価）

計画の名称	浜松市における下水道施設の再構築、防災・安全対策の推進（防災・安全）													
計画の期間	令和8年度～令和12年度（5年間）					交付団体	浜松市							
計画の目標	下水道施設の劣化・損傷等の潜在的リスクに対応するため、ストックマネジメント計画に基づく施設の改築・更新を実施する。													
計画の成果目標（定量的指標）	処理場およびポンプ場の改築更新を実施し、機能停止リスクを低減し安定した下水道サービスを提供する。 老朽管の改築更新を実施し、下水道管に起因する道路陥没等を抑制し安定した下水道サービスを提供する。													
定量的指標の定義及び算定式										定量的指標の現況値及び目標値		備考		
										当初現況値 (R7末見込)	中間目標値 (R10末)		最終目標値 (R12末)	
処理場およびポンプ場の改築・更新実施率（%） 改築実施施設／機能低下が見込まれる施設数										0.0%	73%	100%		
管径2m以上の30年以上経過した老朽管の改築・更新実施率（%） 改築実施延長（延長）／対策が必要な延長（延長）										0.0%	84%	100%		
全体事業費	合計 (A+B+C)	14,214	百万円	A	14,214	百万円	B	0	百万円	C	0	百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%

交付対象事業

A 基幹事業														全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
番号	事業 種別	地域 種別	交付 団体	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）							
											R8	R9	R10	R11	R12			
A07-001	下水道	一般	浜松市	直接	浜松市	管渠(西水)	改築	主要な管きよの改築（ストックマネジメント）	管更生L=0.9km、マンホールポンプの更新	浜松市	■	■	■	■	■	1,179	-	策定済
A07-002	下水道	一般	浜松市	直接	浜松市	管渠(合流)	改築	主要な管きよの改築（ストックマネジメント）	管更生L=1.3km	浜松市	■	■	■	■	■	1,420	-	策定済
A07-003	下水道	一般	浜松市	直接	浜松市	ポンプ場	改築	ポンプ場の改築（ストックマネジメント）	機械・電気設備一式	浜松市	■	■	■	■	■	4,852	-	策定済
A07-004	下水道	一般	浜松市	直接	浜松市	終末処理場	改築	処理場の改築（ストックマネジメント）	機械・電気設備一式	浜松市	■	■	■	■	■	5,791	-	策定済
A07-005	下水道	一般	浜松市	直接	浜松市	終末処理場	改築	効率的な計画策定	ストックマネジメント計画策定	浜松市				■	100	-	策定済	
A07-006	下水道	一般	浜松市	直接	浜松市	終末処理場	新設・増設	処理場放流きよの整備	放流きよの整備L=0.03km	浜松市	■	■				872	-	-
											合計					14,214		
B 関連社会資本整備事業														全体事業費 (百万円)	備考			
番号	事業 種別	地域 種別	交付 団体	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）							
											R8	R9	R10	R11	R12			
											合計					0		
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考			
C 効果促進事業																		
番号	事業 種別	地域 種別	交付 団体	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
											R8	R9	R10	R11	R12			
											合計					0		
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考			

事前評価

○事前評価の実施体制、実施時期

事前評価の実施体制	事前評価の実施時期
	令和 8 年 1 月
「浜松市公共事業評価実施要綱」に基づき、浜松市上下水道部事業評価審査会において審査を行い、評価の判定及び対応方針を決定する。	公表の方法
	浜松市公式ホームページにて公表する。

1 計画の必要性及び目標の妥当性

①上位計画との整合性	上位計画の政策目的と整合している。 浜名湖流域別下水道整備総合計画、天竜川左岸流域別下水道整備総合計画、浜松市公共下水道事業計画に基づき実施するものである。
②地域の課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の整合性）	劣化・損傷に伴う下水道施設の停止や下水道管に起因する道路陥没等のリスクを未然に防止するため、ストックマネジメント計画に基づく下水道施設の改築・更新を行う。

2 整備計画の効果及び効率性

①整備計画の目標と定量的指標の整合性	計画目標について、具体的に評価する指標としての整合性は確保されている。
②定量的指標の明瞭性	定量的指標は整備計画期間内において策定される下水道ストックマネジメント計画で改築・更新を予定している設備・管路を対象に計上されており、指標の対象となる設備の名称、設備数、対象箇所並びに進捗状況について把握が可能であることから、客観的な指標の管理が可能であり、明瞭性は確保されている。
③目標と事業内容の整合性	「下水道施設の劣化・損傷等の潜在的リスクに対応する」という計画目標を達成するため、ストックマネジメント計画を基にリスク評価による対策の優先度が高い設備・管路に対して、改築・更新を実施していくこととしており、目標と事業内容との整合性は確保されている。
④事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性	本事業における下水道施設の改築・更新は下水道施設の点検・調査等の結果並びにストックマネジメント計画をもとに実施することから、損傷・劣化の度合いや優先度に応じた効率的な改築・更新が可能であり、事業実施の効果は十分に見込まれる。

3 計画の実現可能性

①円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成を踏まえた事業実施の確実性）	ストックマネジメント計画に基づいて実施される改築・更新は、ともに点検・調査等により施設の劣化・損傷を把握したうえで実施されてきており、今後も円滑に事業を執行できる環境は整っている。
②地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性）	下水道施設の劣化・損傷の進行による下水処理機能の停止といったリスクは市民生活に直結するものであり、これらを未然に防止するための本事業は住民の理解を十分に得られる事業性であると考えられる。
部審査会 対応方針	部審査会審議日：令和8年1月21日 【○】：本計画は妥当であると認められるため、事業を実施するものとする。 【△】：下記の改善がなされたのち事業を実施すべきである。 【×】：現段階では事業を実施すべきではない。 【-】：その他（下記理由のとおり）  【理由等記述欄】（見直し内容、理由、時期 等）